

2022年10月7日

各位

すみだ水族館

**世界自然遺産 小笠原諸島の海からすみだ水族館へ
アオウミガメの赤ちゃんを10月11日(火)から一般公開
～絶滅危惧種の保全活動、一年間お預かりして故郷へ放流～**

すみだ水族館（所在地：東京都墨田区、館長：毛塚 広治）は、2022年7月28日（木）に小笠原諸島で生まれたアオウミガメの赤ちゃん2頭を、サンゴ礁エリア「ウミガメ水槽」にて2022年10月11日（火）より※一般公開しますのでお知らせします。



小笠原諸島で今年生まれたアオウミガメの赤ちゃん

当館は、2012年の開業時より東京都小笠原村と提携し、絶滅危惧種アオウミガメの保全活動に参画しています。その活動の一環として、小笠原諸島で生まれた赤ちゃんを、外敵に襲われにくい大きさに成長するまで当館で約一年間大切に育て、故郷の海へ放流する活動を行っています。昨年お預かりしたアオウミガメの「かなめ」は、甲長が約9.7cmから約28cmに成長し、今年の10月7日（金）に飼育スタッフが見守るなか、小笠原諸島の海に還っていきました。

「かなめ」という名前は、小笠原諸島の父島にある「要岩（かなめいわ）」から名付けられており、今年も小笠原村立小笠原小学校5年生の皆さまにより、ゆかりのある名前を考えていただく予定です。名前が決定し次第、すみだ水族館公式ウェブサイトやTwitterにてお知らせします。

2頭のようなすが間近で観察できる「ウミガメ水槽」の壁面には、毎日の甲長・体重などの測定データ、成長グラフ、飼育スタッフの手描きの観察メモなどをパネルで掲示します。また、館内では定期的に測定のようなすを公開するほか、毎日のゴハンのようなすも見ることができます。

今後も2頭を通じて、小笠原諸島の豊かな自然や保全活動を知っていただけるよう、年間を通じて館内や施設公式SNSなどで成長のようすを発信してまいります。

※アオウミガメの赤ちゃんの渡航スケジュールや体調などにより日程および内容が変更になる場合があります。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

すみだ水族館 広報チーム/山口・大橋・坪井

■TEL:03-5619-1284 ■MAIL:press-sumida@orix-aqua.co.jp

■「アオウミガメの赤ちゃん」一般公開 展示概要

1. 展示について

展示期間：2022年10月11日（火）～2023年8月下旬予定

展示場所：6階 サンゴ礁エリア「ウミガメ水槽」

展示内容：今年の7月28日（木）に小笠原諸島で生まれたアオウミガメの赤ちゃん2頭を迎え、小笠原諸島の海に還すまでの約一年間「ウミガメ水槽」で公開します。水槽では、赤ちゃんがゴハンを食べるようすや泳ぐようすを間近で観察することができます。甲羅の長さが約9cmの赤ちゃんたちが、一年間でどのように大きくなるのか、館内掲示の成長記録とともに観察してください。



アオウミガメの赤ちゃんたち

※いきものの体調などにより展示内容は予告なく変更する場合があります。

2. 放流のようすを館内にて放映

展示日程：2022年10月15日（土）～

展示場所：インフォメーション横 館内モニター

展示内容：昨年10月2日（土）から約一年間すみだ水族館で過ごし、甲羅の長さが約9.7cmから約28cmに成長した「かなめ」を、故郷である小笠原諸島の海へ放流するようすを館内で放映します。成長を見守っていただいた多くのお客さまに、大海原に還っていく「かなめ」の姿をお届けする予定です。



小笠原諸島の海に還るようす

<小笠原村との取組みについて>

2011年6月に世界自然遺産に登録された小笠原諸島は、国内最大のアオウミガメの産卵地であり、現地ではさまざまな保全の取り組みが行われています。すみだ水族館は小笠原村の活動に賛同し、お客さまにアオウミガメの赤ちゃんのかわいらしい姿や成長の過程、希少性をお伝えするため、約一年間お預かりして育て、小笠原諸島の海へ放流する活動※に参画しています。本年は、飼育スタッフが小笠原諸島までウミガメの赤ちゃんを迎えに行きお預かりしました。また、小笠原村立小笠原小学校5年生の皆さんには、小笠原諸島にちなんだ2頭の赤ちゃんの名前を考えていただき、決定し次第、館内や施設公式ウェブサイト、SNSでの発表を予定しています。



世界自然遺産 小笠原諸島

※小笠原海洋センターでウミガメの保全活動を行っている認定NPO法人エバーラスティング・ネイチャーが主催する、ウミガメジョイントブリーディングプログラム。

<アオウミガメについて>

アオウミガメは、IUCN（国際自然保護連合）及び環境省により絶滅危惧種としてレッドリストに登録されています。小さい頃は雑食性ですが、大きくなると主に海藻や海草を食べ、甲羅の大きさが最大約 100cm、体重約 200kg まで成長します。

毎年春から夏にかけて浜辺で産卵し、約二か月後に孵化（ふか）します。一度に 100 個以上の卵を産みますが、一年以上生きられるものはごくわずかで、成熟するまでには約 40 年かかると言われています。

<常設展示「小笠原大水槽」小笠原村との連携

～東京にある世界自然遺産を発信する～>

東京都唯一の世界自然遺産である小笠原諸島の海を再現した大水槽「小笠原大水槽」では、小笠原諸島からやってきた約 45 種 450 点のいきものたちをご覧いただけます。国内の水族館で唯一※、小笠原諸島で生まれたシロワニをご覧いただけるほか、小笠原諸島独特の濃く、深く、どこまでも青く透き通った海の色「ボニンブルー」を再現する照明演出を行っています。



小笠原大水槽

※日本動物園水族館協会に登録されている水族館の中で唯一。

未来の地球をつくっていく活動「AQTION！（アクション）」

すみだ水族館から発信する、未来の地球をつくっていく活動です。水族館のアクションであり、みんなのアクションにつなげたいとの想いを込めて、「AQUARIUM からはじまる ACTION」という意味で、「AQTION！」と称したプロジェクトを立ち上げました。

多彩ないきものの生活に触れ、間近に感じることができる水族館が、地球環境やいのちの大切さを思うきっかけとなり、未来を創造する子どもたちのチカラを育むことを目指しています。

小笠原村との取り組みも、この「AQTION！」の活動の一環になればと考えています。

未来へ伝える 未来にのこす
AQTION!

AQTION！ロゴ

■ 「AQTION！」公式ウェブサイト

<https://www.sumida-aquarium.com/aqtion/>

【施設概要】

施設名称	すみだ水族館				
英名	SUMIDA AQUARIUM				
運営会社	オリックス不動産株式会社（本社：東京都港区、社長：深谷 敏成）				
運營業務受託会社	オリックス水族館株式会社（本店：東京都港区、社長：似内 隆晃）				
館長	毛塚 広治（けづか こうじ）				
開業日	2012年5月22日（火）				
場所	東京都墨田区押上 1-1-2 東京スカイツリータウン・ソラマチ 5F・6F				
営業時間	平日：午前10時～午後8時 土日祝日・特定日：午前9時～午後9時 ※入場受付は閉館の1時間前まで ※季節による変更あり ※気象状況および貸切営業等により営業時間を変更する場合があります				
休館日	なし（年中無休） ※水族館のメンテナンスやイベント等による臨時休業あり				
公式ホームページ	http://www.sumida-aquarium.com				
料金（税込み）	【個人のお客さま】				
		大人	高校生	中・小学生	幼児 （3歳以上）
	一般料金	2,300円	1,700円	1,100円	700円
	※中学生、高校生の方は、チケット売り場で生徒手帳の提示が必要。 ※障がい者手帳をご提示の方とご同伴の方（1名）は、一般料金の半額。				
	年間パスポート	4,600円	3,400円	2,200円	1,400円
	※中学生、高校生の方は、チケット売り場で生徒手帳の提示が必要。 ※障がい者手帳をご提示の方は、年会費が半額。				
	【団体のお客さま】				
	一般団体 （20名以上）	2,070円	1,530円	990円	630円
	学校団体 ※引率の教員 の方は無料 （一部上限あり）	保護者・ 高校生 以上	中学生	小学生	園児 （0歳から 有料）
		1,380円	1,020円	660円	420円
※学校の行事としてのご入場の際に適用					
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・東武スカイツリーライン「とうきょうスカイツリー」駅すぐ ・東武スカイツリーライン・東京メトロ半蔵門線・京成押上線・都営地下鉄浅草線「押上（スカイツリー前）」駅すぐ ※当館には専用の駐車場はございません。東京スカイツリータウン®の駐車場（30分ごとに350円（税込み））をご利用ください。				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・全館禁煙 ・給湯シンクを備えた授乳室（計2カ所） ・おむつ替えコーナー（計8台） ・盲導犬などの介助犬の同伴可能 				